

みなとかまいし 地区会議だより



【平成28年1月1日発行 第9号】

みなとかまいし地区会議は、市中心部の37団体で組織し、地域と行政との協働による地域課題の解決に取り組んでいます。

【発行】みなとかまいし地区会議
議長 高橋 松一

【事務局】釜石地区生活応援センター
電話22-0180 FAX22-6002

“新年の寿”を共に分かち合いたい。

昨年、釜石市に地域の課題解決を要望していたところ、11月27日に釜石市の対応が説明された。

その中で新たな行政課題として、釜石市の人口ビジョン総合戦略の概要やマイナンバー制度について等も検討課題としてあげられた。

(これは新たな課題で、一地域会議だけのテーマではないはずだが。)

私たちの周辺、今まだ、復旧・復興の道半ばだが、私たちは自らのため、次代の子・孫のため、住みたくなる町、住んで良かったといわれる町、を作るため、自らが笑みを絶やさず、立ち続けなければ・・・。

そんな過渡的な一年に・・・。



【みなとかまいし地区会議 議長 高橋 松一】

平成27年度 第1回地域会議 (11/27 (金) 開催)

地区会議構成団体ほか地域の方々には18人が出席しました。

まず、復興の取り組みや地域課題への対応方針について、市長をはじめ市の幹部職員から説明していただき、その後、意見交換を行いました。当地区会議の9項目の要望に対する市の対応方針については、次のとおり回答がありました。

課題・要望項目	市の対応方針など(要旨)
①鳥谷坂道路の河川の安全施設の整備	河川全般に蓋を設置するのは管理上困難である。落下防止用ガードレール・ガードロープ等の設置については緊急性を勘案しながら実施について検討する。
②鹿の被害対策について	東部地区において、多くの野生生物出没原因の一つとなっている北側の山林は鳥獣保護区となっていたが、平成27年度の鳥獣保護区の見直しにより市から県に対し協議したところ、鳥獣保護区の縮小となった。このことから東部地区の捕獲圧が高まり獣害対策の一環となると考えている。
③駒木不動沢砂防ダム整備について	浚渫工事を実施した経緯があり、今後も道路パトロール及び土砂の浚渫で危険防止を図る。また、治山ダムや砂防ダムの整備について県に要望する。
④大只越町日ヶ沢団地に至る道路改良について	地権者から家屋解体の意思は伺っているが、解体業者の手配に至っていない現状である。今後も関係者と協議していく。
⑤大只越町日が沢団地に至る道路の転落防止設備整備について	市内における優先度、緊急度を勘案しながら実施について検討する。

課題・要望項目	市の対応方針など（要旨）
⑥行政指導による町内会の体制づくりについて	<p>町内会は、自主組織であるが、地域活動にとって必要不可欠な組織である。生活応援センターや地域会議の活動を通じて、町内会の実態や課題を調査し必要に応じて支援していく。</p> <p>なお、みなとかまいし地区会議内の町内会世帯数等の調査を平成27年7月に釜石地区生活応援センターが実施済み。</p>
⑦復興住宅と町内会との係りについての行政指導について	<p>復興住宅すべてについて自治会を設置することではないが、共同生活していく上ではルールを作り、それに沿って生活していく必要があるため組織作りを進めている。</p> <p>復興住宅入居者に対して町内会加入の行政指導は行えないが、復興住宅に自治会ができ、それが町内会組織の1つになって、町内会とともに活動できるようになることが大切であることから、町内の方々と良好な関係を保つために町内会と自治組織の交流会等を必要に応じ支援して行く。</p> <p>また入居者説明会で町内会加入に関するチラシを配布するなど、生活応援センター、支援団体、町内会とともに情報交換を行いながら取り組みを進めていく。</p>
⑧土石流対策と市街地の排水処理対策について	<p>盛土の品質は、建築基準法上の品質を確保するための施工を行うことにより、地盤沈下等を抑制する盛土品質を有することから、盛土の安定に数十年かかることはない。</p> <p>従来からの沢筋等、湧水が多く確認される場所には排水処理のための側溝及び暗渠排水工等を整備する。また、盛土造成地に高低差が出る場合は一定の高さ以上で擁壁を設置し、雨水等による盛土流出を抑制する。</p> <p>道路パトロールに努めるとともに状況に応じて今後も側溝清掃を実施していく。また、大雨対策として汐立排水ポンプ場の整備を計画しており、現在は仮設ポンプを設置して大雨時に稼働させている。</p>
⑨鈴子町防犯灯取替え	<p>平成27年度実施予定はない。今後、市内の優先度及び緊急性を考慮して、支柱が著しく損傷したもの、また老朽化して危険なものについて交換していく。</p>

地域リーダー向け健康講座

（12/11（金）開催）

みなとかまいし地区会議の構成員と民生委員を対象として、臨床心理士山崎創氏を講師に「ストレスと上手に向き合う方法」をテーマに、地域住民と地域の支援者自身の健康づくりへの取り組みとして開催され、楽しみながら学ぶことが出来ました。

